

私に之を以て提げしより、労働組合全体の共同の闘ひに参加し
なければならぬ。

我れは、於ける一般労働者の労働条件は、諸外島のそれと比して
遙かに劣るべきである。就中、港内船員及び労働者の多く
には一般労働者のそれと比して遙かに不利な労働条件
を甘んじて居る。左の如きに至るまで、港内労働者の間に有力な組
合の世に於ては、其の至るべき理想の一つである。故に吾れ神戶
港内労働組合は、望望として左記の労働条件を以て、先づ
港内労働者の労働条件を改善し、生活の安寧と向上とを
計ること、力を傾倒しなければならぬ。

それと同時に、労働組合の最終の目的は、資本主義労働条件を徹
底改善すること、止まらざりて、資本主義の搾取の権威
の世に正義の闘争を以て戦うこと、能く生活を建設すること、

我が神戶海上労働組合は、右面の自然向うを目指して、日々
奮闘を怠らぬと、大膽な労働階級建設の完全なる解放を以
て、最終の目標とすることを宣言する。

大正十三年八月廿四日

日本労働
組合連合会

神戶海上労働組合